消　防　統　計　資　料

（令和７年上半期）

令和7年度全国統一防火標語

急ぐ日も　足止め火を止め　準備よし

Niihama　City　Fire　Department

新居浜市消防本部

〒７９２－００２５　新居浜市一宮町一丁目５番１号

℡０８９７（３４）０１１９　FAX０８９７（３４）１１８９

http://www.city.niihama.lg.jp/

目　　次

火　　災

		ページ
１．	火災概況	１
２．	火災種別	２
３．	建物火災における住宅火災の割合	２
４．	月別・原因別火災件数及び損害額	３
５．	校区別火災件数	４
６．	初期消火状況	５

救　　急

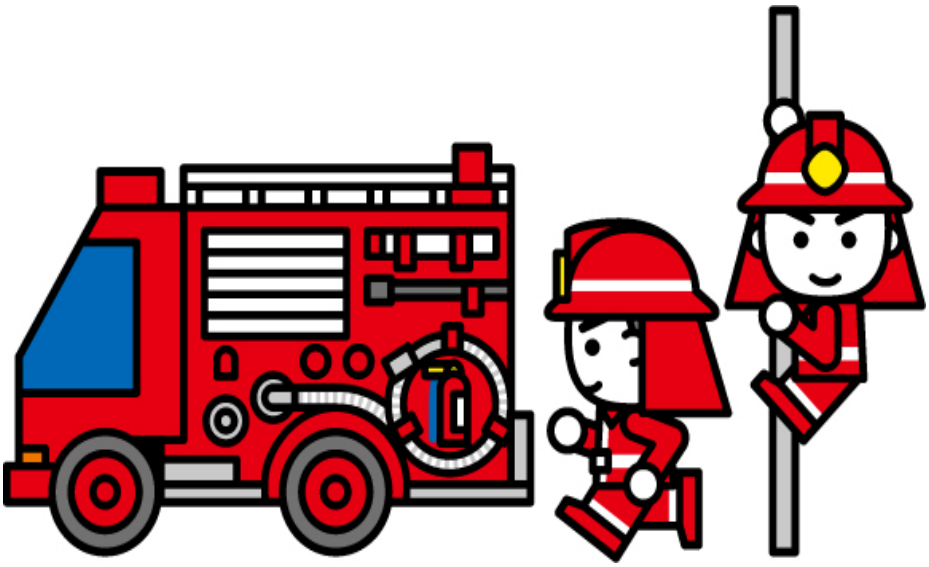
１．	地区別救急出動件数の推移	６
２．	事故種別救急出動状況・年齢区分別搬送人員状況	７
３．	（１）応急手当普及啓発活動	８
	（２）救急車適正利用のお願い	８
	（３）救急支援情報サービス	８

救　　助

１．	救助概況	９
２．	救助統計	９
	・地区別出動件数	
	・事故種別出動件数	

火災

Fire



１．火災概況

２．火災種別

３．建物火災における住宅火災の割合

４．月別・原因別火災件数及び損害額

５．校区別火災件数

６．初期消火状況

1. 火 災 概 況

火災

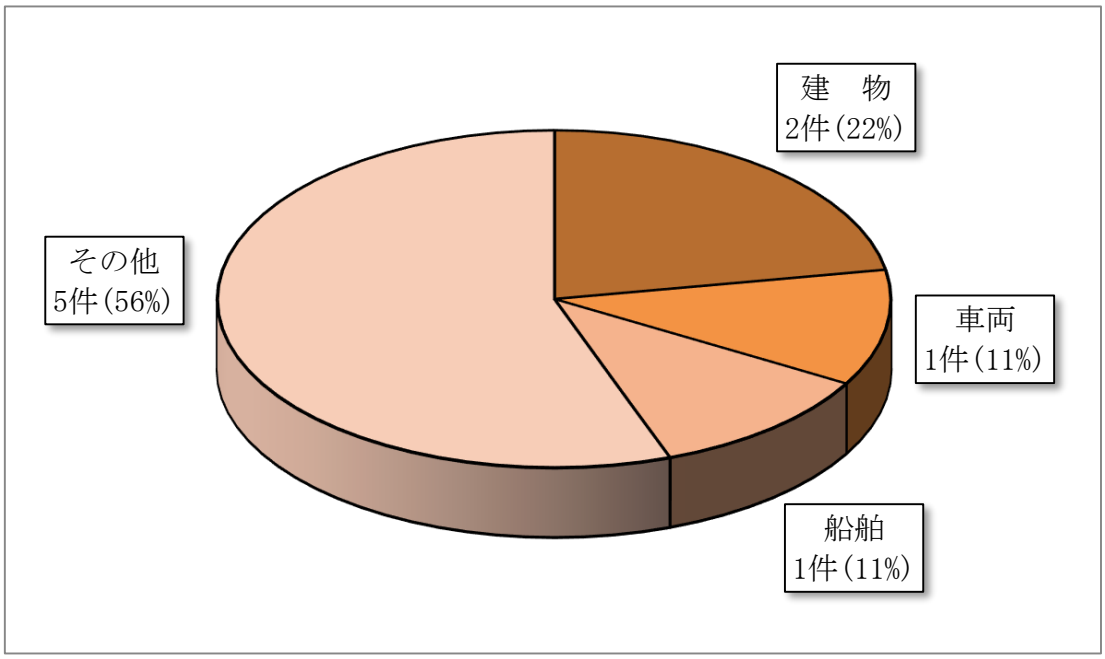
新居浜市における令和７年上半期の火災件数は、昨年より９件少ない９件です。これは、２０日に１件の割合で火災が発生したことになります。

火災による死者は０人で前年と同様０人で、負傷者は１人で前年より１人減少しています。

区分		単位	令和７年	令和６年	増減
火災件数	火災件数	件	9	18	▲ 9
	建物	〃	2	10	▲ 8
	林野	〃	0	0	0
	車両	〃	1	2	▲ 1
	船舶	〃	1	0	1
	その他	〃	5	6	▲ 1
	爆発	〃	0	0	0
損害額	合計	千円	32,500	7,153	25,347
	建物	〃	893	6,388	▲ 5,495
	林野	〃	0	0	0
	車両	〃	80	700	▲ 620
	船舶	〃	25000	0	25,000
	その他	〃	6527	65	6,462
	爆発	〃	0	0	0
焼損棟数	合計	棟	3	13	▲ 10
	全焼	〃	0	4	▲ 4
	半焼	〃	0	0	0
	部分焼	〃	1	1	±0
	ぼや	〃	2	8	▲ 6
焼損面積	建物焼損床面積	㎡	15.35	247.00	▲ 231.65
	建物焼損表面積	〃	0.62	21.34	▲ 20.72
	林野焼損面積	a	0.00	0.00	0.00
死傷者	死者	人	0	0	0
	３０日死者	〃	0	0	0
	負傷者	〃	1	2	▲ 1
り災	世帯数	世帯	3	7	▲ 4
	人員	人	7	19	▲ 12

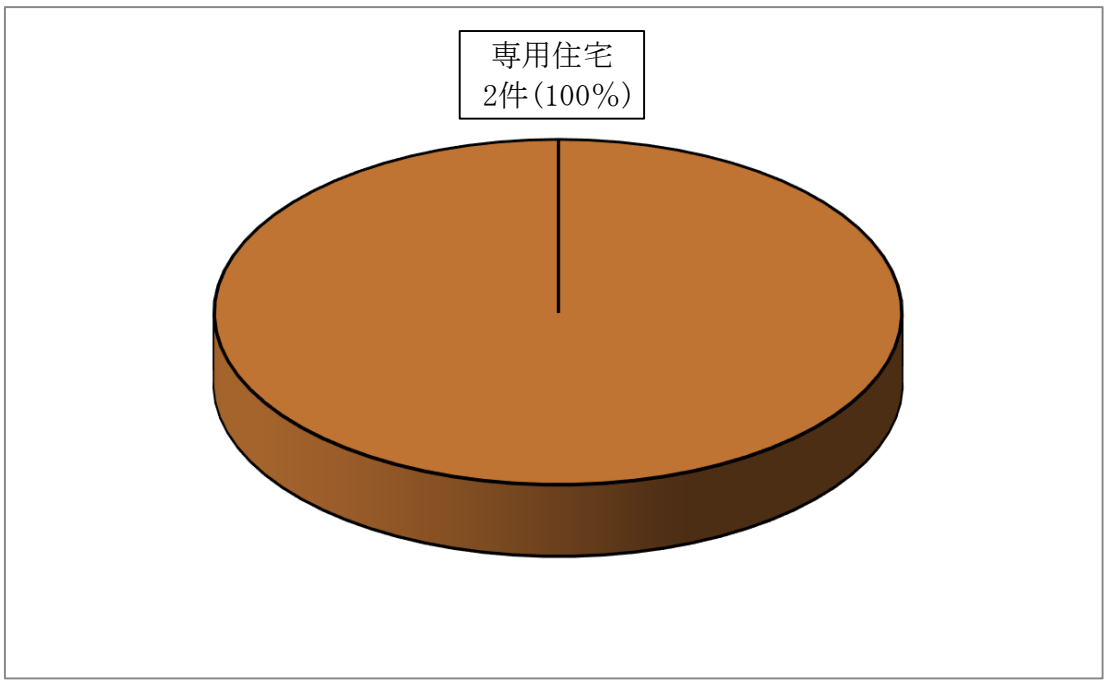
2. 火 災 種 別

令和７年上半期の火災件数（９件）のうち、建物火災（２件）は約２２％を占めています。



3. 建物火災における住宅火災の割合

住宅での火災は、建物火災全体の１００％となっています。



4. 月別･原因別火災件数及び損害額

月別の火災件数は、１月に最も多く発生しており３件、次いで４月、６月が２件となっています。

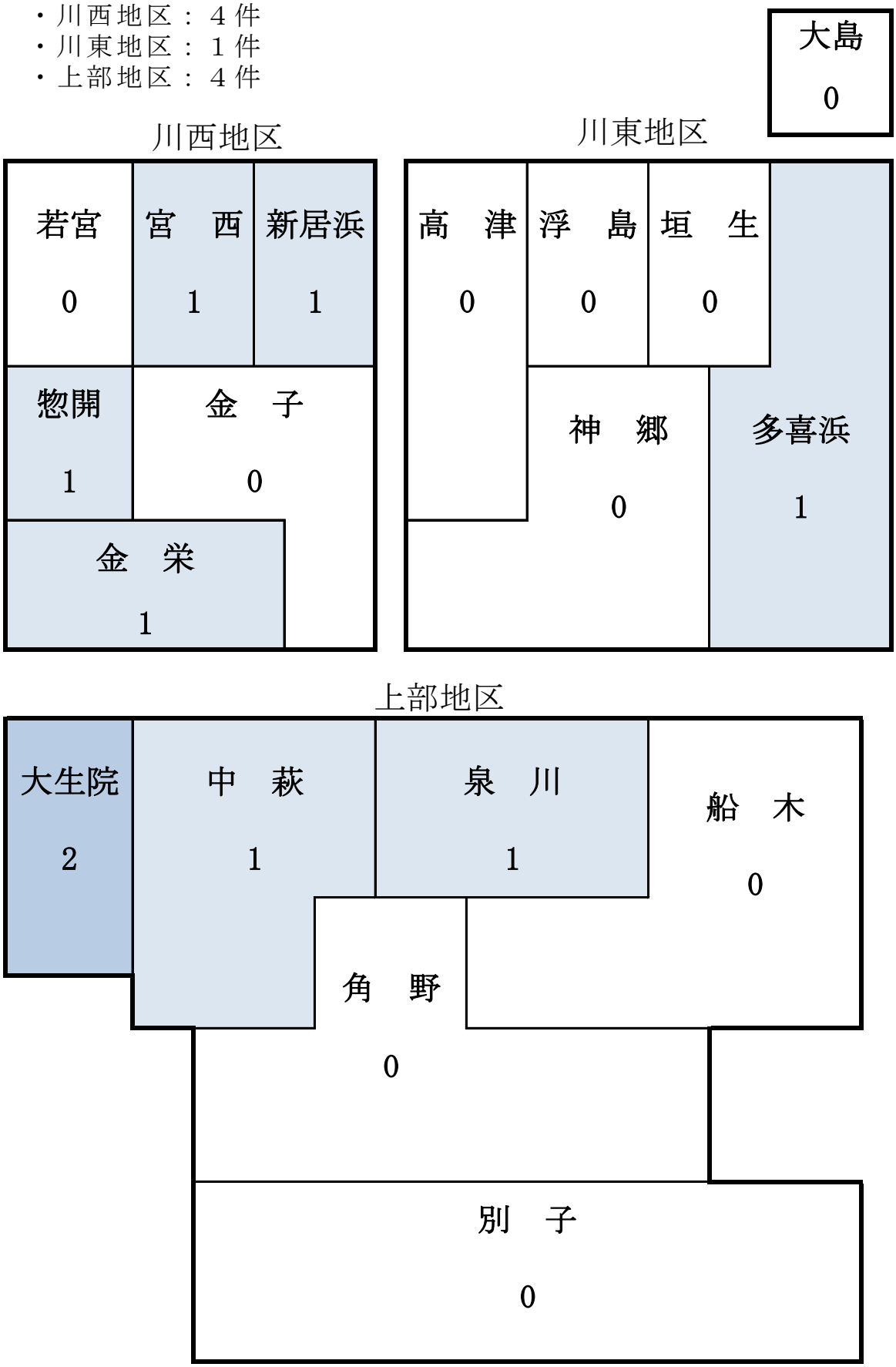
出火原因は、たばこが３件で最も多く、次いでたき火が２件となっています。

月別 / 原因別	計	１月	２月	３月	４月	５月	６月
火災件数	9	3	1	1	2	0	2
サイレン吹鳴件数	0						
損害額（千円）	32,500	893	80	0	25,027	0	6,500
たばこ	3			1	1		1
こんろ	1	1					
排気管	1		1				
電気機器	1	1					
電気装置	1						1
たき火	2	1			1		

5. 校区別火災件数

校区単位での火災発生件数です。

・川西地区：４件
・川東地区：１件
・上部地区：４件



※若宮及び大島は旧小学校区です。

６．初期消火状況

令和７年上半期に発生した９件の火災に対し、６件の火災で初期消火が行われ、そのうち、５件で火災の消火に成功しています。

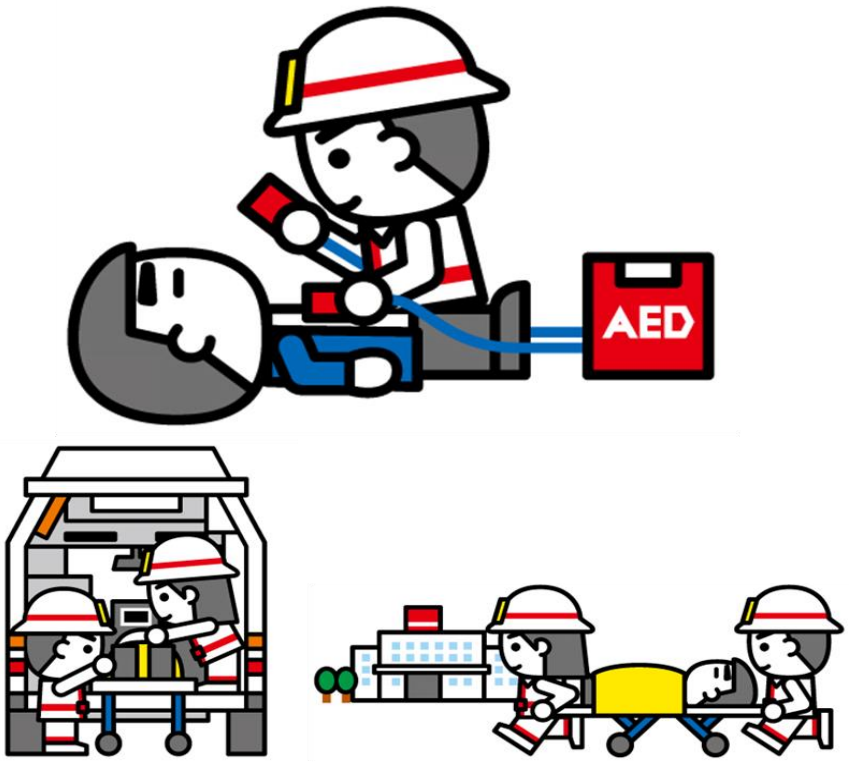
次に初期消火に用いた方法をみると、最も多く使用されたのが 『水バケツ』、『その他』が２件、次いで、『屋内消火栓設備』、『水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた』が各１件となっています。

火　災　件　数	９件　（%）
初期消火実施　（構成比）	６件　（ 67% ）
成功件数　（構成比）	５件　（ 83% ）
初期消火なし　（構成比）	３件　（ 33% ）

初　期　消　火　方　法	実施件数（消火成功件数）
水バケツ	2　（ 1 ）
屋内消火栓設備	1　（ 1 ）
水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた	1　（ 1 ）
その他	2　（ 2 ）
合　計	6　（ 5 ）

救 急

Emergency



１．地区別救急出動件数の推移

２．事故種別救急出動状況・年齢区分搬送人員状況

（１）応急手当普及啓発活動

（２）救急車適正利用のお願い

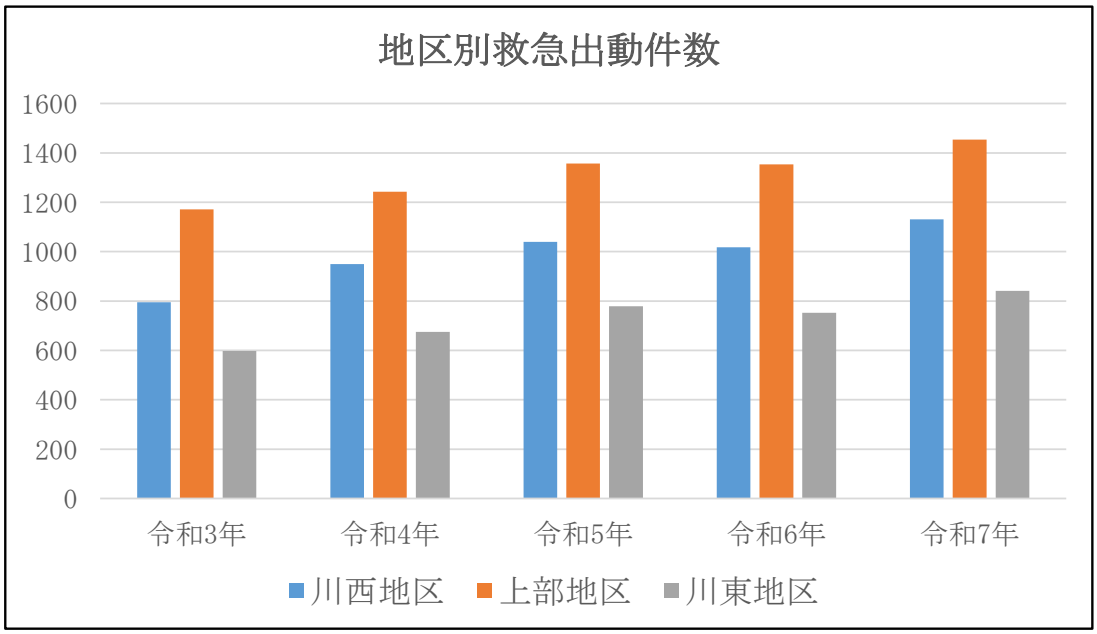
（３）救急支援情報サービス

１．地区別救急出動件数の推移

救急

令和7年上半期における救急出動件数は3,429件（対前年比301件増）となっています。また、その中で傷病者が医療機関に搬送された人数は3,202人（対前年比266人増）で前年と比較し救急出動件数、搬送人員ともに増加しています。救急自動車は、1日平均18.9件の割合で出動したことになります。

（上半期）



年 地区	令和3年 上半期	令和4年 上半期	令和5年 上半期	令和6年 上半期	令和7年 上半期
川西地区	795	949	1040	1018	1131
上部地区	1171	1242	1357	1353	1454
川東地区	598	675	779	752	841
市外	0	0	0	5	3
合計	2564	2866	3176	3128	3429

２．事故種別救急出動状況・年齢区分別搬送人員状況

令和7年上半期における搬送人員のうち、事故種別（急病、交通事故、一般負傷、及びその他）の全件数に対する割合をみると、搬送人員3,202人のうち、急病の占める割合は2,086人（65.1%）で、交通事故は210人（6.6%）、一般負傷は519人（16.2%）となっています。また、搬送人員を年齢区分別でみると、高齢者（65歳以上）が2,132人（66.6%）となっています。

事故種別救急出動状況　（令和7年上半期）

		合　計	月別					
			1	2	3	4	5	6
出動件数（件）		3,429	737	532	599	532	472	557
搬送人員（人）		3,202	686	495	561	496	448	516
火災	出動件数	2	1					1
	搬送人員	2	1					1
自然災害	出動件数							
	搬送人員	0						
水難	出動件数							
	搬送人員	0						
交通事故	出動件数	216	35	28	38	41	31	43
	搬送人員	210	36	28	35	41	31	39
労働災害	出動件数	20	4	6	1	5	3	1
	搬送人員	20	4	6	1	5	3	1
運動競技	出動件数	11	1	1	2	3	3	1
	搬送人員	11	1	1	2	3	3	1
一般負傷	出動件数	540	103	87	94	85	79	92
	搬送人員	519	102	82	90	82	77	86
加害	出動件数	8	2		2		2	2
	搬送人員	8	2		2		2	2
自損行為	出動件数	16	1	3	4	3	1	4
	搬送人員	12	1	3	4	1		3
急病	出動件数	2,253	510	358	400	340	299	346
	搬送人員	2,086	465	330	374	315	280	322
その他	出動件数	363	80	49	58	55	54	67
	搬送人員	334	74	45	53	49	52	61

年齢区分別搬送人員状況　（令和7年上半期）

年齢区分 事故種別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
急病	2	97	68	458	1461	2086
交通事故		5	29	105	71	210
一般負傷		32	14	76	397	519
その他	12	12	15	145	203	387
合計	14	146	126	784	2132	3202

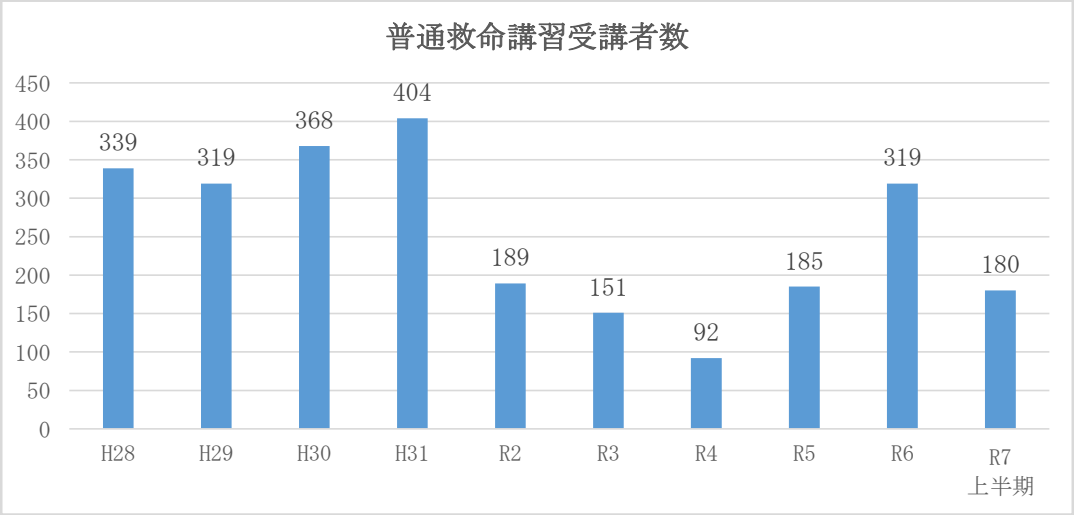
（注）　割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）

３．（１）応急手当普及啓発活動

応急手当に関する正しい知識と技術の普及を目的とし、新居浜市では普通救命講習、救急入門コース、一般講習を行っています。

令和7年上半期

・普通救命講習（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）　　実施：　8回、受講者：180人
・救急入門コース（1時間30分程度）　実施：11回、受講者：275人
・一般講習（1時間未満）　　実施：33回、受講者：1,114人



３．（２）救急車適正利用のお願い

救急車の出動件数が増えることで、救急車が現場に到着するまでに要する時間も伸びてきており、一刻を争う事態が発生したとき、救急車の到着が遅れてしまうおそれがあります。

えひめ救急電話相談（＃7119）を使っていただくことで、緊急性の高い傷病者の元にいち早く救急隊が駆けつけることができるようになります。

（詳細は、下記のホームページをご参照ください）

３．（３）救急支援情報サービス

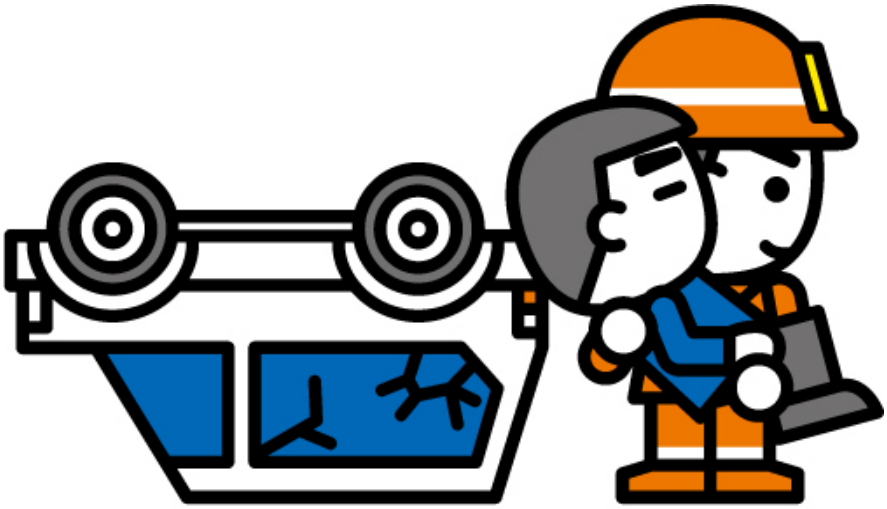
①えひめ救急電話相談「＃7119」について
https://www.pref.ehime.jp/h15300/23syoubou/7119.html

②愛媛県子ども医療相談「＃8000」について
https://www.pref.ehime.jp/h20150/kyukyu_syoni/syonikyukyu.html

③総務省消防庁「Q助」案内サイト
https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate003.html

救 助

R e s c u e



１．救助概況

２．救助統計

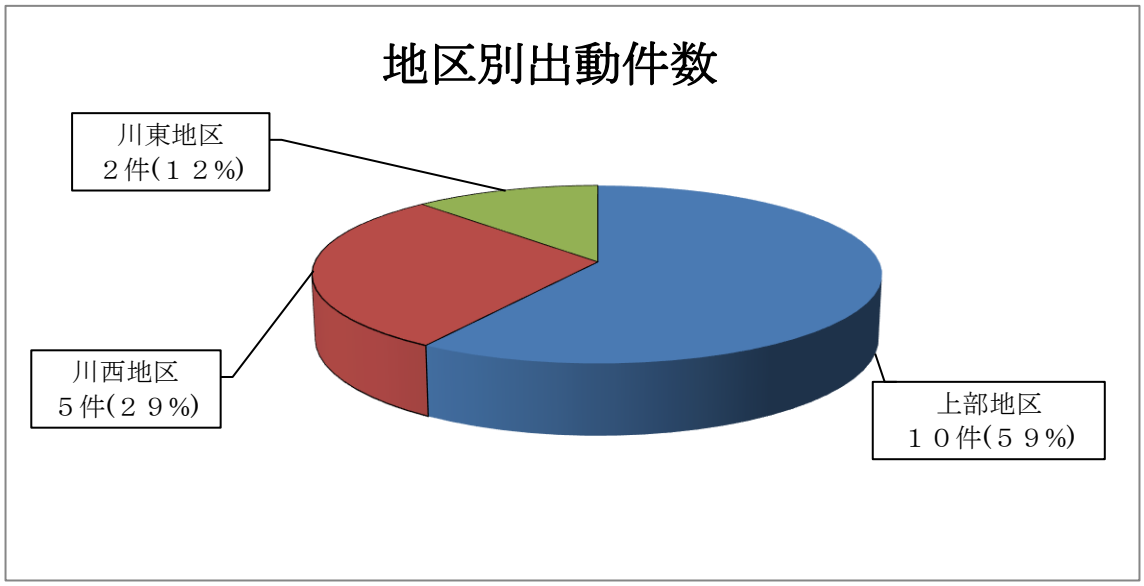
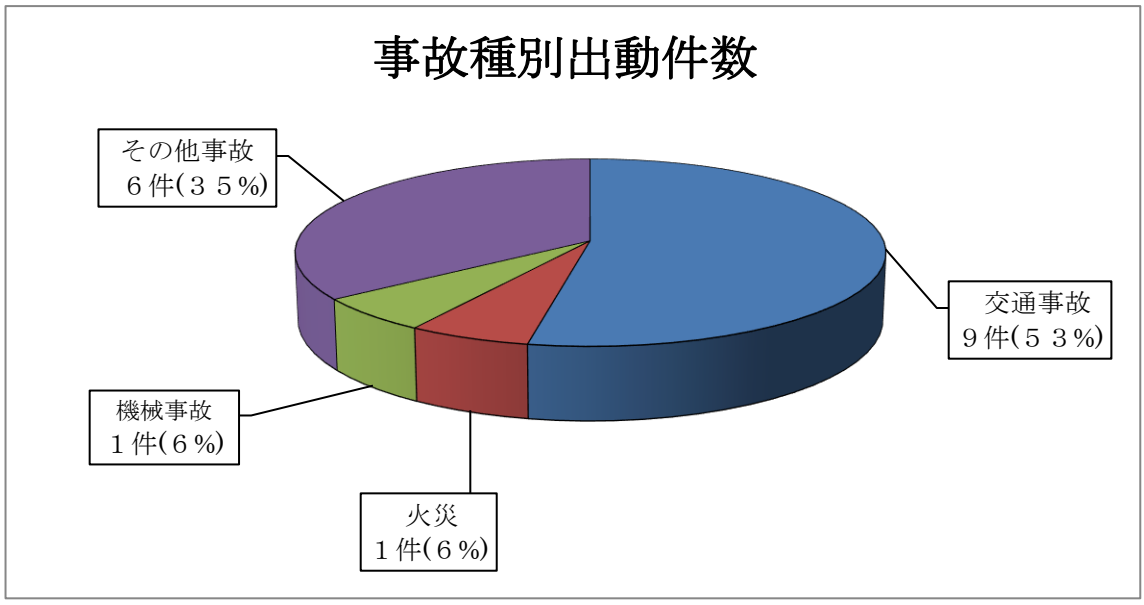
・地区別出動件数

・事故種別出動件数

救助

１．救 助 概 況

令和７年上半期の救助概況は、出動件数１７件、活動件数９件で、昨年同期と比較すると、出動件数は７件増加、活動件数は同数となっています。また救助人員は、１０人で昨年同期と比較すると同数となっています。

社会構造の変化に伴い、救助活動は、火災のみならず、地震、風水害、交通、水難事故等、広範囲に及んでいます。このような状況の中、高度救助資機材の整備・活用を図るとともに、各種訓練により、隊員の育成・レベルアップに努め、幅の広い災害事案に対応できるよう、取り組んでいきます。

２．救 助 統 計